



もうちよつと白をぬって寝るわ

田畑あきら展

2025 11月22日(土) — 2026 1月12日(月・祝)

開館時間 10:00-18:00 ※観覧券の販売は17:30まで。
休館日 12/1(月)、12/15(月)、12/29(月)～1/3(土)
観覧料 当日券:一般1,100円(900円) 大学・高校生800円(600円) 前売券:一般900円

○前売券は新潟県立万代島美術館、新潟県立近代美術館等のほか、オンラインでも販売。(9/19～11/21)
※中学生以下無料。※()は有料20名様以上の団体料金。※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。

新潟県立万代島美術館 〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1 朱鷺メッセ内 万代島ビル5階

The Niigata Bandaijima Art Museum TEL 025-290-6655 <https://banbi.pref.niigata.lg.jp/> X/Instagram @niigata_banbi 田畑あきら子《作品》1966-67年 国立国際美術館蔵

主催：新潟県立万代島美術館
後援：新潟県教育委員会、新潟市教育委員会
協力：新潟県立美術館友の会
助成：公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団、
公益財団法人 花王 芸術・科学財団



芸術文化振興基金



A



B



C



D



E



F



G



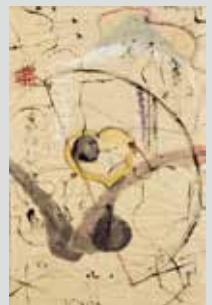
H



I



J



K



L

新潟県西蒲原郡巻町(現・新潟市西蒲区巻)出身の画家、詩人である田畑あきら子(1940-1969)。
田畑が亡くなる前年、唯一開かれた個展の前後に集中して描かれた油彩画は、有機的な線と形態、文字や記号が描かれた画面に、白い絵の具が塗り重ねられ、独特の浮遊感をたたえます。わずか十点に満たない一連の油彩画が田畑の代表作とされる一方、これらとともに、田畑の作品世界を豊かに伝えるのが、200点を超える素描群です。素描からは、田畑が「オボロ線」と呼ぶにいたる、次第に繊細さを増していく線描の変遷がみてとれ、彼女の思索の痕跡を辿ることができます。
本展では、彼女の作品を一堂に会し、田畑が描きとめた儚いイメージの世界を探索すると同時に、夭折ゆえに特に問題となる没後の受容史を検証します。さらに、田畑が私淑した荒川修作やアーシル・ゴーキーらの作品も併せて展示し、当時の美術を振り返ることで、この作家を「夭折の画家」という文脈から切り離し、同時代美術の中に位置づけようとするものです。

A.《作品》制作年不明 早稲田大学倉津八一記念博物館寄託 B.《作品》1966年頃 C.《作品No.35》1969年 D.《作品No.31》1968年 E.《作品No.5》1964年 F.《作品No.24》1968年 G.《作品》制作年不明 H.《作品No.21》1968年 I.《作品No.17》1967年 J.《作品No.9》1965年 K.《作品No.7》1964年 L.《詩稿》制作年不明 B～Lは新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵

田畑あきら子展

2025 11月22日(土) — 2026 1月12日(月・祝)

【会期中のイベント】

■トークイベント「田畑あきら子語る」
(協力:新潟県立美術館友の会)
【ゲスト】星野健司氏(彫刻家)、丸山直文氏(画家)、コイズミマヤ氏(美術家)、松沢寿重氏(前新潟市新津美術館長)
【日時】12月20日(土)14:00～15:30
【会場】当館展示室 *申込不要/要観覧券

■学芸員によるミニレクチャー
「田畑あきら子展が実現するまで」
【日時】11月22日(土)14:30～15:00
【会場】当館ロビー *申込不要

■ギャラリートーク
【日時】12月14日(日)、1月10日(土)各日14:00～
【会場】当館展示室 *申込不要/要観覧券

【交通のご案内】●新潟駅からタクシー約8分／徒歩約25分／バス約15分(新潟駅バスターミナルより「朱鷺メッセ・佐渡汽船線」(17番線)に乗りし「朱鷺メッセ」下車)
●自動車=高速道路 北陸道(新潟西I.C.)／磐越道(新潟中央I.C.)／日東道(新潟亀田I.C.)から一般道へ。新潟バイパス、亀田バイパスを紫竹山I.C.で降りて、栗ノ木バイパスを新潟西港方面へ。●駐車場=万代島駐車場(A～E駐車場 ※C駐車場は思いやり駐車場)1時間まで無料(1時間経過後、30分ごとに100円)・お問い合わせ Tel. 025-246-8400／万代島ビル内駐車場(1F、M2F)20分ごとに100円・お問い合わせ Tel. 025-249-1044

【親子で楽しむアートデー】11月30日(日)10:00～18:00

親子で美術館を楽しむ1日として、いくつかのプログラムを実施します。

①親子ふれあいデー 当日に限り、中学生以下の子どもを同伴する保護者(子どもにつき2名まで)の観覧料を無料にします。【定員】先着50組 *要事前申込(新潟県電子申請システムにて受付。詳細は当館HPにてお知らせします。)

②ワークショップ「ひろがるかいが」【時間】10:30～12:00【会場】当館展示室、ロビー【対象】中学生以下の子ども【定員】先着10名 *要事前申込(新潟県電子申請システムにて受付。詳細は当館HPにてお知らせします。)

③おしゃべりタイム この日は1日、展示室内で声の大きさを気にせず鑑賞をお楽しみいただけます。親子で、ご家族で、リラックスしてご鑑賞ください。

【学生無料ウィーク】 1月4日(日)～12日(月・祝)までの期間、大学・高校生の観覧料が無料になります。受付で学生証をご提示ください。

■新潟県立近代美術館(長岡市)の展覧会

TEL:0258-28-4111
「オバケ?」展
9月13日(土)～12月7日(日)

■次回の企画展

「大カブコン展—世界を魅了するゲームクリエイション」
2026年3月14日(土)～6月21日(日)予定



新潟県立万代島美術館
The Niigata Bandaijima Art Museum